

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高等学校のキャリア教育コーディネート事業
事業主体 (連絡先)	郷土愛プロジェクト 上伊那広域連合地域振興課内 (伊那市荒井 3500-1 いなっせ3F)
事業区分	教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,453,203 円 (うち支援金: 1,162,000 円)

事業内容

1. 高等学校の「探究的な学び」のコーディネート
- (1) コーディネートした学校
伊那北高校、伊那弥生ヶ丘高校、箕輪進修高校、
上農高校、伊那西高校 計5校
- (2) コーディネートの内容
 - ① 各学校の探究の時間における地域素材の発掘と探究テーマの提供
 - ② 探究のテーマに対する講師の選定・依頼
 - ③ 郷愁につながるキャリア教育の視点から地元企業による「キャリアフェス」の企画と実施



【伊那西高校キャリアフェス】

【目標・ねらい】

- ① 生徒が地域を知る
- ② 生徒が地域に暮らしてきた人々に出会い、生き方に学ぶ。
- ③ 上伊那の企業を知り、就職への選択肢をもつ

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- (1) 高校5校への講師などサポートしていただいた人は、延べ300名におよび、多くの地域人の手によって、多様な生き方、暮らし方、企業紹介ができた。
- (2) 同時に、かかわっていただいた地域団体と企業数は、35社(団体)となり、生徒は多くの地元企業を知ることができた。
- (3) 各学校の探究の時間のねらいや生徒の実態に沿った学習内容や時間の提供ができ、活動終了後の生徒の感想から、企業への興味が高まった(70%)、就職に役立つ情報だった(85%)などの高評価を得ることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- (1) コーディネートを行う郡内の学校数を増やし、郡内の高校が「地域に学ぶ」「地域人の生き方に学ぶ」「地域の企業や団体を知る」ことへつなげたい。
- (2) 高校生が自ら地域に出て活動する場を提供し、探究の時間以外でも活躍できるような体制を構築していく。同時に高校生のやりたいことを保障し、創造力をもって、活動できる場や時間、予算面でのサポートを行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価 【 A 】

【理由】

- (1) 地域の特色や生徒の実態、就職状況を活かした探究の時間にかかわる提案ができた。
- (2) 活動実施後の調査では、生徒、教師、地域人からの高評価が得られた。